

# 第28回 こどもまちづくりコンクール記録

～みつめて・体験して・発見した 高山～



☆ こどもまちづくりコンクール実行委員会 ☆

～ 後援：公益社団法人岐阜県建築士会 ～

# 目次

はじめに	1
審査結果	2
作品紹介	3
出品者名簿	14
作品展	17
おわりに	19



# はじめに



「こどもまちづくりコンクール」は平成9年から始まり、今回で28回目を数えます。

毎年夏休みを利用して、こどもたちが高山のまちについて感じていることや、こんなまちだったらいいなあといった想いをまとめて、それぞれの自由な発想で作品が作られています。

このコンクールでは、こどもたちが作品への取り組みを通じて得た、新鮮な感動や発見、まちへの愛着や将来への展望などが表れている作品が評価されていますが、こどもたちのまちづくりへの取り組みだけを狙ったものではありません。「こどもたちの思いがけない視点からの発想や、おどろきと感動、根気に取り組む姿勢を周りの大人も考えていこう」「地域に還元できるまちづくりの素材として活かしていこう」といった大人たちのまちづくりとしての活動でもあるのです。

作品展は下記の日程で行い、まちづくり大賞、準大賞受賞者には、今年度も公益社団法人岐阜県建築士会の後援により、副賞の盾を授与しています。

- ・「こどもまちづくりコンクール作品展」

令和7年 9月12日～14日 会場：高山市民文化会館

小中学生のみなさんは、今後とも「高山のまちへのあたたかい思い」を持って、楽しく夢のある作品を作ってください。その過程で得られた感動や発見を忘れることなく、自分が育ったこの高山のまちで、またよそのまちへ行ったとしても、様々なかたちでの「まちづくりびと」となっていたきたいと願っています。



# 審査結果

賞名	作品名	名前	学校	学年
まちづくり 大賞	水を知る	倉田 夏芽	松倉中	1
まちづくり 準大賞	飛騨独楽を世界中に 飛騨独楽でコ マニケーション	深井 結政	南小	3
	高山はやっぱりイチイ(一位)だ	石垣 良樹	北小	5
特別賞	終戦 80 年 戦争と高山 陸軍の ひいひいおじいちゃん	東 莉如愛	南小	5
		東 潤生也	南小	6
優秀賞	金森長近紙製甲冑	釜屋 奏志	南小	6
	ぼくがあこがれてきた 飛騨総社のし しまいのひみつ?	西洞 匠真	北小	3
入賞	こんなバスあったらいいな	西森 一燈	南小	1
		西森 心乃葉	南小	4
	高山市にクマが出た!!	荒川 公啓	南小	6
	YOUは何しに高山へ!?	阪下 ふみ	北小	3
	クマがぼくの町にあらわれた	中嶋 慶十	新宮小	3
	丹生川町 31 の正体	木岡 太陽	丹生川小	3
	奥飛騨温泉郷の道路標識を探る	石田 芯	栃尾小	5
努力賞	すごいぞ!!高そくどうろ	安藤 任環	南小	2
	2026 高山のカレンダー	松野 友祐	南小	3
	ぼくのまちの校歌について	堂前 咲人	北小	4
	にゆうかわガチャ	松崎 堇	丹生川小	3



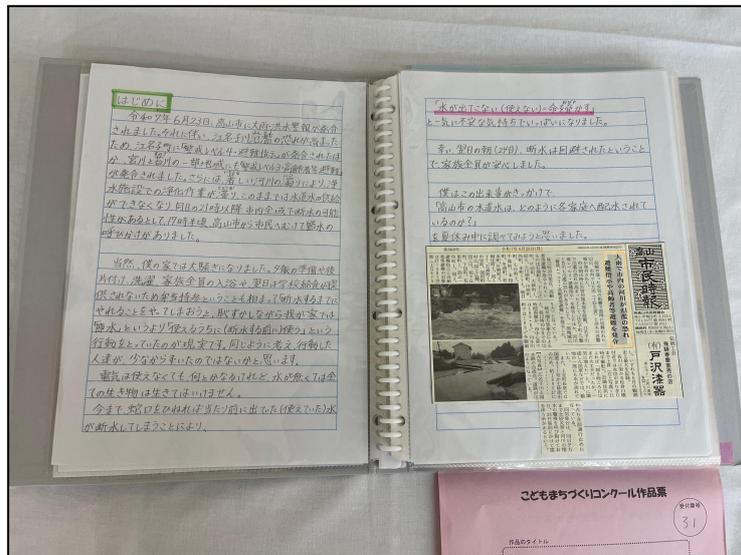
# 作品介绍

## ▶ まちづくり大賞

### 水を知る

松倉中学校 1年 倉田 夏芽

全ての生き物は、水がないと生きてはいけません。蛇口をひねれば当たり前に出てくる水。6月23日の豪雨の影響により断水の可能性があったことで「水が出てこない（使えない）＝命を脅かす」と不安な気持ちでいっぱいになりました。このことから「高山市の水道は、どのように各家庭へ配水されているのか？」を調べてみることにしました。高山市の水がどのように作られ、どのように配水されているかを、皆さんに知ってもらいたいと思います。（※高山市では小学4年生で浄水場見学に行っている学校もあります。）



### 審査講評

あらためて、あたりまえにある「水」の大切さを感じました。上水道を作る上で一番大切な取水の安全性。取水の安全性を保つために自然を破壊しないこと、汚染しないこと、そのためのマナーの大切さ、下水処理が肝心の事が、作者の具体的な現地レポートや調べからやさしく丁寧に、そして強く伝わってきました。高山の上水道の歴史や仕組みについても知る事ができてよかったです。まちづくりの根幹をなす、上水道づくりの先人の苦労や工夫そして今も守って頂いている方々への感謝の気持ちが溢れていて、これから先、自然環境に対して自身でできる事や水の備えまで考えている事に感動しました。この研究を通じてますます郷土高山が誇らしく、愛らしく感じられました！

## ▶ まちづくり準大賞

飛騨独楽を世界中に 飛騨独楽でコミュニケーション

南小学校3年 深井 結政

きっかけは保育園の時なげこまをできるようになってから飛騨のこまにきょうみもちをはじめて3段ごまやいじわるごまなどのいむずかしいこまを回せるようになって楽しくなった。去年ぐらいから地場産センターに行っておまを回していると、こどもも、大人も言葉のつうじない外国人もあつまってきた。こまでコミュニケーションがとれるのはなぜだろう？飛騨こまのみりよくにせまりたくなかった。



### 審査講評

こまが好き、という気持ちから、実際に職人さんのところを訪れて修行をするという行動力が素晴らしいです。記録には職人さんのもとで学んだことが写真とともにたくさん書かれていて、結政さんのこまに対する情熱が伝わってきます。

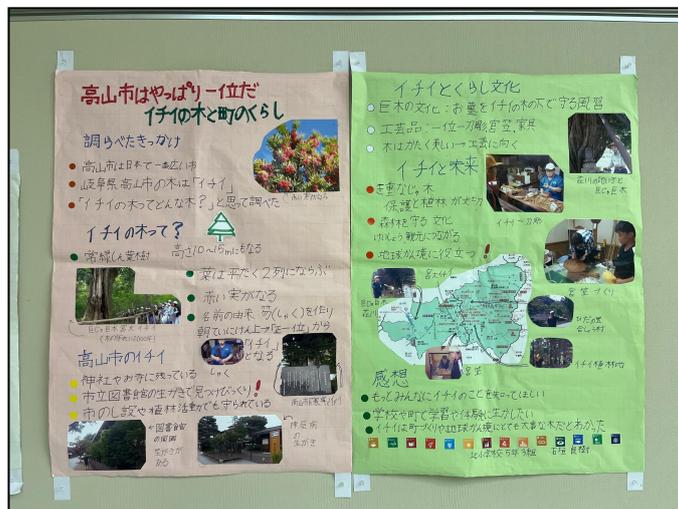
また、数々の手作りこまには木で作られたしっかりしたこまもあれば、ペットボトルのふたや折り紙など、身の回りのもので作られたこまもあり、どんなものでもこまになるんだという驚きとともに、結政さんにはあらゆるものがこまに見えているのだろうなというこまに対する情熱をここでも感じられて素晴らしいです。

高山市は外国人の方が多く訪れる町なので、こまを通じて高山と世界をつなぐ架け橋になってほしいなと思います。

## 高山はやっぱりイチイ（一位）だ

北小学校5年 石垣 良樹

取材するために高山の各地をまわりました。高山の一位の木を知ってほしいです。がんばったところはいろんな人に取材したりインターネットで調べたりしました。



### 審査講評

まずイチイの木と一位（順位）をかけた秀逸なタイトルに目を惹かれました。高山の一位一刀彫は有名ですが、イチイの木そのもののことはあまり知らない方も多いのではないのでしょうか。この作品ではまずイチイの木がどんな木なのかというところから始まり、その後イチイが市内でどのような使われ方をしているのか、実際に現地に行き調査しています。調査結果が写真と一緒に地図上でまとめられており、どこでどのように使われているのかがとても分かりやすいです。

今回の調査を活かして、今後イチイの良さを広めていってほしいです。

## ▶ 特別賞

終戦80年 戦争と高山 陸軍のひいひいおじいちゃん

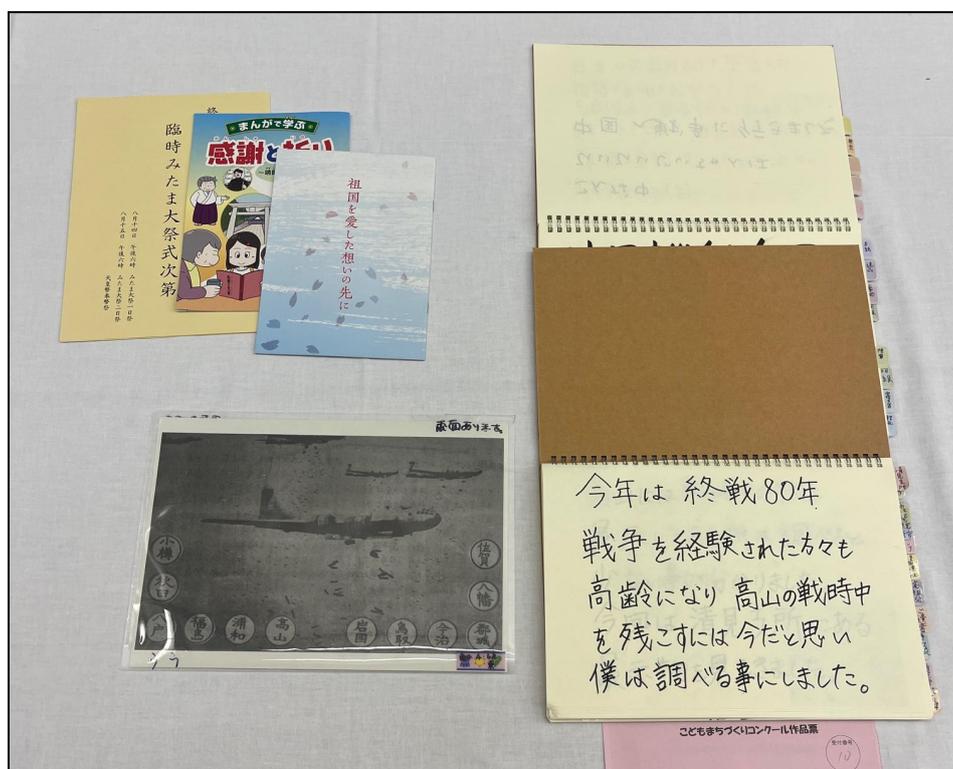
南小学校5年 東 莉如愛 6年 東 潤生也

今年は終戦80年の年です。

春にお姉ちゃんが沖縄でひめゆりの塔へ修学旅行で行って戦争の話聞き、高山は？身内では戦争に関わった人がいないか調べました。長崎広島のように原子爆弾は落ちていません。東京大阪大空襲のような事はありません。

でも高山には戦死された方が多くいます。

高山の戦争、そして戦死された方について二人でそれぞれパートを分けて調べました。ぜひ見てください。そして高山の戦争を知ってください。



### 審査講評

平和が大切といつも思いますが、80年たって戦争は遠い昔のことだと考えがちです。8月に日本が降伏しなかったら、高山も危険だったと知識としてあっても、実際に空襲のあった都市や広島、長崎、沖縄ほど平和教育は行なわれていないと思います。

お二人はひいひいおじいちゃんの事を知ろうと、市内の貴重な展示やご家族のお話からこの歴史にしっかり向き合って私たちに見せてくれました。ただ作品を見てさえ胸に迫ってきます。大人でもできれば避けて通りたい恐ろしい真実であるのに、このような形にしたことは、小学生のお二人にとってどんなにつらいことだったかと胸が熱くなりました。遺品のメガネの写真は涙が出ます。この作品は、家族の歴史を大切にされているお二人とそのご家族、加えて私たち市民にとっても尊いものなので、「特別賞」とさせていただきます。

## ▶ 優秀賞

### 金森長近紙製甲冑

南小学校6年 釜屋 奏志

ぼくは小さい時から歴史が好きで、とくに高山市の戦国武将金森長近が一番好きでした。高山まちの博物館に行ったときこの甲冑に出会いました。一つ一つパーツを手作りで糸をとおしてかぶとを作るのに苦戦しました。ぼくはこの甲冑をもうすこし簡単にして甲冑キットなどをつくり観光資源などになったりホテルや観光施設などにかざってもらえればいいなと思っています。



### 審査講評

この作品は高山のまちづくりの祖、金森長近の甲冑をカッコいいペーパークラフトで表したところがとても素晴らしいです。「くさずり」や「しろこ」など甲冑の細かい名前まで良く調べてありました。小さなパーツに紐を通し（専門的には緘（おどし）といいます）であるなど細かいところまで丁寧に作られていて、まるで本物のようです。飾り台や鎧櫃まで作ってあって感動です。時間をかけてたくさん工夫したことがよく分かりました。

金森長近は城を造り道路を通し、今の高山の町を作った大切な人。また、マンガに描かれているように信長、秀吉、家康に仕え、一目置かれた存在でした。もっと多くの人に知ってもらいたいですよね。甲冑キット、いいですね！これからも町のことや歴史のことに楽しく目を向けて、すてきな発想を広げ、発信していきましょう。

## ぼくがあこがれてきた 飛騨総社のししまいのひみつ？

北小学校3年 西洞 匠真

ぼくはそうしゃのししをやっていて、ししのことが大すきだから、調べようと思いました。むずかしい本もよんで、たくさん字を書いて、すごい人に話をきけたり、自分で神社を見にいったり、ししのまいかたをくらべてちがいをみつけるのをがんばりました。すごいことがわかったのを見てほしいです。



### 審査講評

二年連続の夏の調べもの！それもおなじ総社の獅子についてでした。昨年のタイトルは「ぼくのすきな ひだそうしゃとしし」、今年は「ぼくがあこがれてきた」と変化しました。好きが憧れに変わる、タイトルだけ見ても素敵すぎます。

調べものも更にバージョンアップし詳しくなっています。写真に写る獅子のカッコいいこと！憧れがないと撮れない写真にも見えました。調べる中で、獅子に詳しい人にインタビューをしながら「ひみつ」に迫っていきます。この『詳しい方々』に出会えるのも、なかなか難しいと感じながら、出会わせてくれたのはやはり「憧れ」の強さなんだろうなあと感心してみせてもらいました。

## ➤ 入賞

### こんなバスあったらいいな

南小学校 1年 西森 一燈 4年 西森 心乃葉

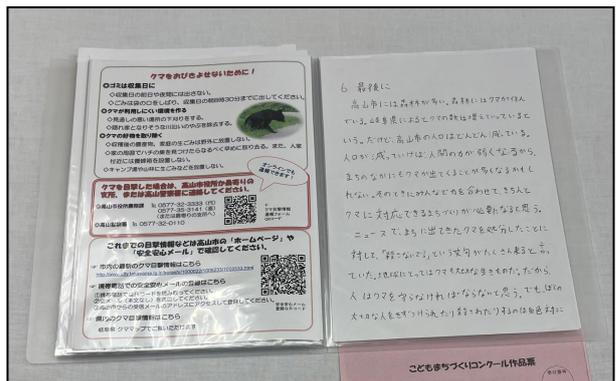
高山市の「たくみバス」に乗りました。中は高山市のみりよくがいっぱいつまっていて、乗る人を楽しませるようにたくさん工夫をしているなと感じました。私たちも色んなバスがあったらいいなと考えてみました。絵にすることがむずかしかったです。中のことも考えたので見てください



### 高山市にクマが出た！！

南小学校 6年 荒川 公啓

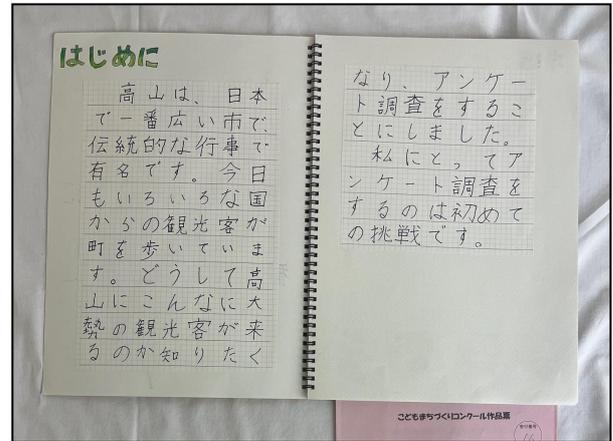
今年の7月に高山市内でクマの目撃情報がたくさん出てこわかったので、クマについて知りたいと思ったことがきっかけです。いつどんな場所にクマが出たのかを知らせて、みんなが安心してクラスためにはどうしたらいいか考えました。ぼくが子どもと外国人客のためにデザインしたポスターを見てほしいです。



## YOUは何しに高山へ!?

北小学校3年 阪下 ふみ

作ったきっかけは、世界中からたくさんのお客さんが来ている理由を知りたかったからです。作品の見てほしいところは、5カ国語のアンケートを用意して、じっさいに外国からの観光客にシールをはってもらったページです。アンケートに答えてもらうために話しかけるのがとてもきんちょうしました。



## クマがぼくの町にあらわれた

新宮小学校3年 中嶋 慶十

山に住むはずのクマが町にあらわれてこわかったです。いつも通りに生活ができなかったし遊びに行けなかったので、こわくておもしろくなかったです。

そこで、どうして町に出てくるのか、どのくらい出たのか調べてみようと思ひ、この研究を始めることにしました。



## 丹生川町31の正体

丹生川小学校3年 木岡 太陽

学校で丹生川町の地名の事を知り、もっと調べてみたいと思いました。この地図を見て「こんな地名があるのか〜」「こんな広い場所があるのか〜」ということを、みなさんにも知ってもらいたいです。

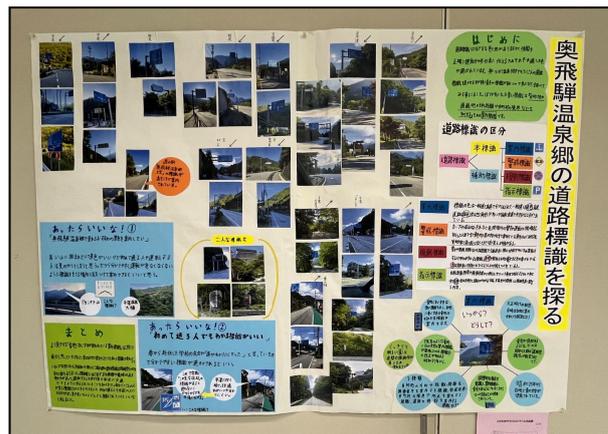
地名の由来をかいどくするのが大変だったので、そこも見てもらいたいです。



## 奥飛騨温泉郷の道路標識を探る

栃尾小学校5年 石田 芯

ぼくの家から学校に行くとき、高山に行くとき、習い事に向かうとき、道中でたくさんの道路標識を見かけました。特に青い標識が大きく目立つので気になり調べてみたいと思いました。こんな標識があったら、いろんな人にもっと分かりやすく案内できるのかなと考えた標識を見てほしいです。車の少ない時間に写真をとるために早起きを頑張りました。



## ➤ 努力賞

### すごいぞ！高そくどうろ

南小学校 2年 安藤 任環

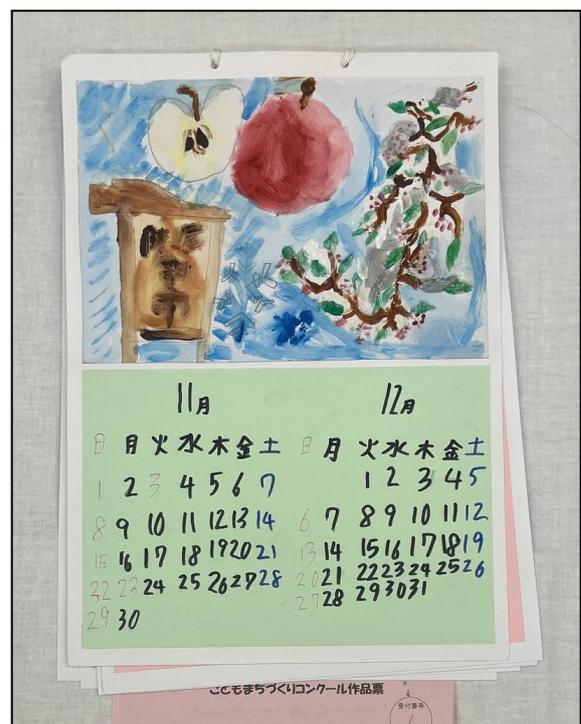
高そくどうろのつくってる途中をカメラでとるために高山～松本までいってとったことがたいへんでした。また高そくどうろのパーキングエリア、サービスエリアにあるものも見てもらいたいです。そして地図をかくのもたいへんでした。



### 2026高山のカレンダー

南小学校 3年 松野 友裕

ぼくの作品の見てほしいところは水にえのぐをつけてうすくしたところや水をつけずにこくかいたところです。また高山のどくとくなくせつ行事をかきました。



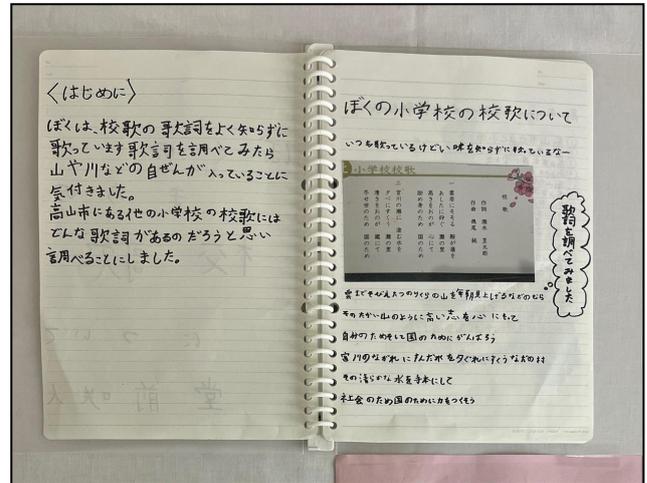
## ぼくのまちの校歌について

北小学校 4年 堂前 咲人

自分の学校に校歌に山や川が出てきていて、ほかの高山市の学校の校歌にはどんな歌詞が出てくるのだろうと思い、ぼくのまちの小学校の校歌について調べることにしました。

いろいろな山や川が出てきたり、そのちいきのたいせつな物を歌詞にしたりしていておもしろかったです。

高山市はとても広いので調べるのが大へんでした。



## にゅうかわガチャ

丹生川小学校 3年 松崎 董

わたしが住んでいる丹生川にかんするガチャを作りました。

おいしいほうれん草やすくなかぼちやの絵をがんばってかきました。

字の色もこだわりました。のりくらの字はミヤマキンバイやコマクサの色にしました。

がんばって作ったので見てください。





# 出品者名簿

番号	作 品 名	氏 名	学 校	学 年
1	みんながつながるちきゅう	山田 羽未	東小	2
2	卸売市場のひみつ	元田 莉子	東小	5
3	知っているようでみんな知らない飛騨高山市街地わくわくドキドキ高山のこと BOOK	瓜田 晴	西小	4
4	こんなバスあったらいいな	西森 一燈	南小	1
		西森 心乃葉	南小	4
5	すごいぞ!!高そくどうろ	安藤 任環	南小	2
6	2026 高山のカレンダー	松野 友祐	南小	3
7	高山市の中華そば食べてみた	浅田 龍平	南小	3
8	飛騨独楽を世界中に 飛騨独楽でコミュニケーション	深井 結政	南小	3
9	わたしの町はユニバーサル?!大調査!!!	藤原 ひかり	南小	5
10	終戦 80 年 戦争と高山 陸軍のひいひいおじいちゃん	東 莉如愛	南小	5
		東 潤生也	南小	6
11	金森長近紙製甲冑	釜屋 奏志	南小	6
12	高山市にクマが出た!!	荒川 公啓	南小	6
13	かんなくずのポンポン	與嶋 彩椰	北小	1
14	たかやまのだいすきなばしょすごろく	坂田 一太	北小	1
15	ぼくがあこがれてきた 飛騨総社のししまいのひみつ?	西洞 匠真	北小	3
16	YOUは何しに高山へ!?	阪下 ふみ	北小	3
17	ぼくのまちの校歌について	堂前 咲人	北小	4
18	高山はやっぱりイチイ(一位)だ	石垣 良樹	北小	5
19	ひだの方言大調査!!	阪本 真央	北小	6
20	ずっと残していきたい宮川朝市	溝端 一馬	北小	6
21	かたの町の地図	高井 恭吾	山王小	3
22	クマがぼくの町にあらわれた	中嶋 慶十	新宮小	3
23	たかやまこーん	高桑 啓路	花里小	1
24	はなび	水上 泰暉	丹生川小	1
25	丹生川町 31 の正体	木岡 太陽	丹生川小	3

26	にゅうかわガチャ	松崎 董	丹生川小	3
27	あったらいいなあ～みらいの高山市	中谷 胡春	久々野小	2
28	くりかえしがっこう	藤元 楓大	国府小	3
29	家にあるこうかの作られた日	北平 隼大	国府小	4
30	奥飛騨温泉郷の道路標識を探る	石田 芯	栃尾小	5
31	水を知る	倉田 夏芽	松倉中	1
32	鉄塔	平阪 有伍	国府中	2

# 「審査会」

日時 令和7年9月10日（水）

会場 高山市民文化会館



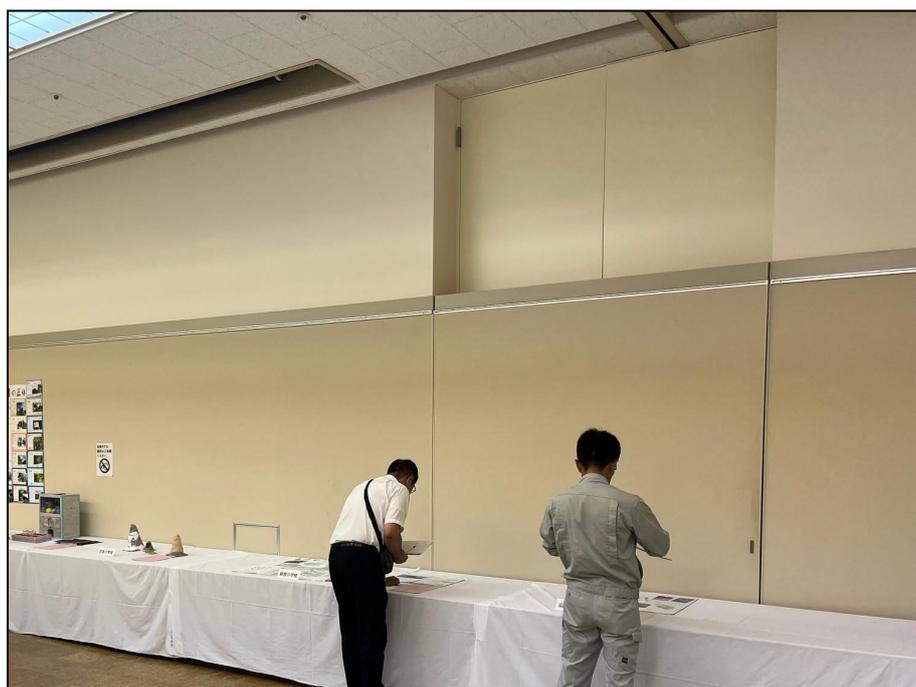
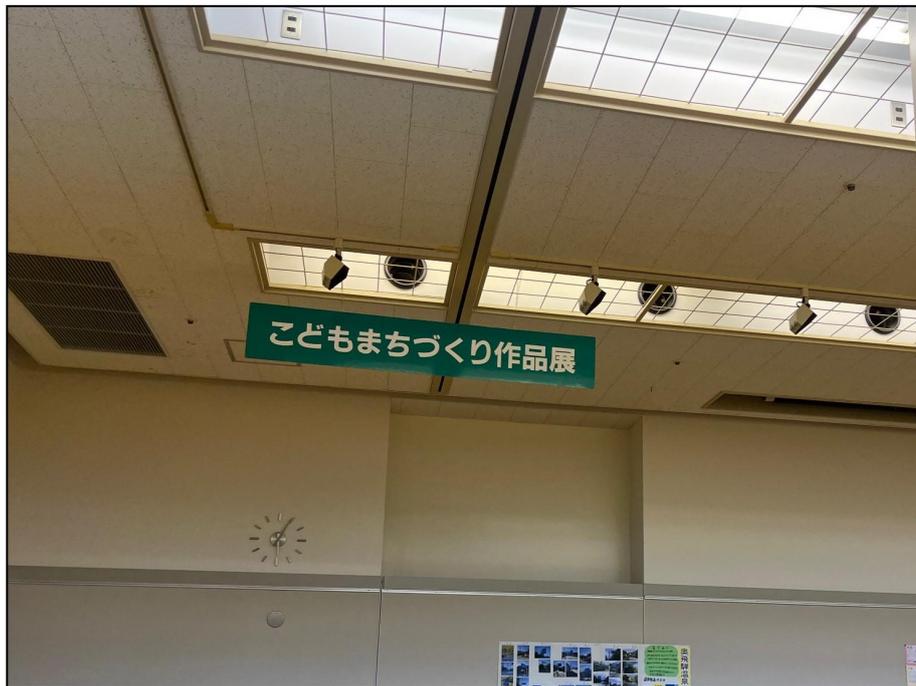
9.2



# 作品展

## 「こどもまちづくりコンクール作品展」

日時 令和7年9月12日（金）～14日（日）  
会場 高山市民文化会館



## 「表彰式」

第28回こどもまちづくりコンクール作品展

第64回全飛発明くふう展・未来の科学の夢絵画展 合同表彰式

日時 令和7年9月14日（日）

会場 高山市民文化会館ロビーにて



公益社団法人 岐阜県建築士会の後援により、まちづくり大賞・準大賞受賞者にはトロフィーが授与されました。



今回は、小中学生の皆さんが夏休み中に取り組んだ、マップやまち歩きレポート、研究作品、立体作品など32作品の応募がありました。

自分の目で見歩いて感じたことがまとめられた作品は、新たなアイデアやユーモアにあふれた力作がそろっていて、大人の視点では気付かない発見や発想に感心させられるばかりか、まちづくりにすぐ実践できる内容がたくさんみられました。

まちづくりに終わりはありません。

皆さんの夢や願いを大きく膨らませて、未来の高山をみんなで作っていきましょう！

こどもまちづくり for たかやま 2025年（令和7年）

第28回こどもまちづくりコンクール記録  
令和7年12月

問合先 高山市都市政策部都市計画課  
〒506-8555 高山市花岡町2丁目18番地  
TEL:0577-57-7444 FAX:0577-35-3168  
編集 こどもまちづくりコンクール実行委員会

実行委員 大塚則幸(委員長)、伊藤早苗、石神隆  
蒲池和子、桑山知子、中川淳一、西崎英二

事務局 都市計画課（担当 谷謙伸）